



MISATO Town Assembly

# 美郷町議会だより

2021 **10** No.60

発行／宮崎県美郷町議会  
編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1  
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

### ■第3回定例会

令和2年度決算認定 ……………2～3P  
補正予算等20議案 原案可決 ……………4P

### ■第2回～第4回臨時会 ……………5P

### ■町政を問う!～第3回定例会一般質問～ ……6～9P

### ■議会トピックス／議員のひと言コーナー …10P

### ■あれからどうなった?～追跡調査～ ……11P

### ■美郷町の元気づけと／編集後記 ……………12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、  
タブレットからでもご覧になれます。



ながた よねぞう  
長田 米藏さん (北郷地区)

生涯現役  
毎日シキミの出荷に追われています。



ウナラン オマール ファルクさん  
つげ まゆさん (トルコ出身)  
柘植 まゆさん (南郷地区)

鬼神野田出原に移住  
人がとても優しいところで楽しく過ご  
せてます。



いしい ひさゆき  
石井 壽幸さん  
いしい せつこ  
石井 節子さん  
(西郷地区)

2人して、自慢の美郷栗を作っています  
すので味には自信があります。

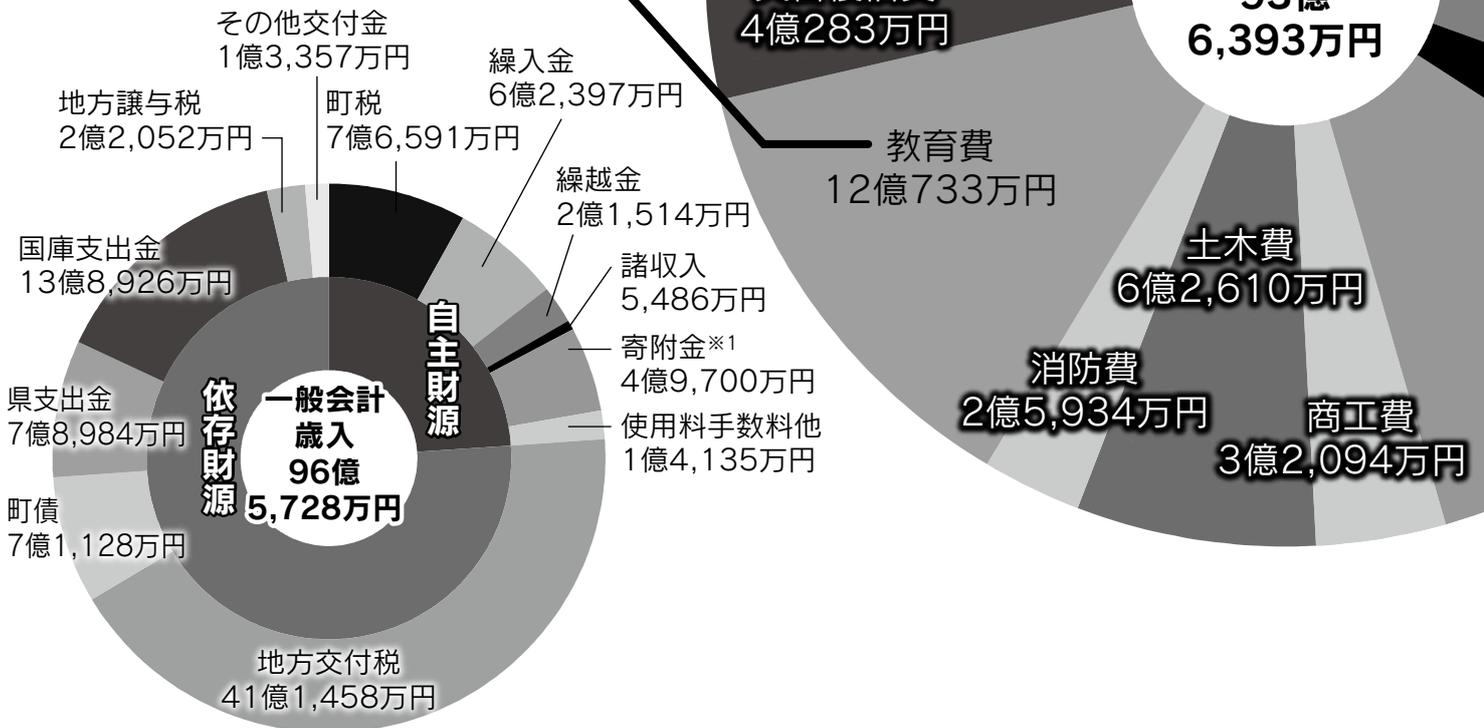
第3回定例会が9月3日から16日までの14日間の日程で開会しました。

今回の定例会では、令和2年度の決算について特別会計、病院会計を含む計8会計を決算審査特別委員会にて審査し、126億6,847万円の支出を認定しました。

## 西郷義務教育学校を整備

7億9,448万円

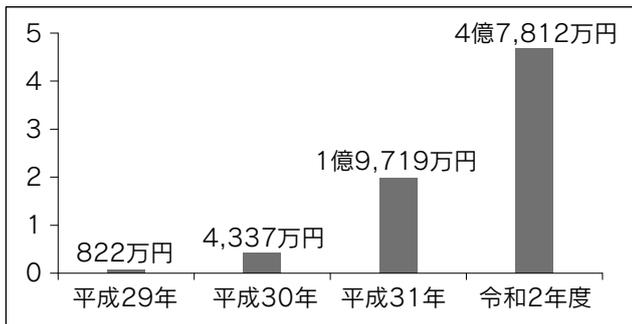
西郷地区の小中一貫校整備のため西郷中学校校舎を改修。



## ※1 ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)は昨年度比2億7千万円増

前年度に比べ2倍以上の寄付額となりました。

返礼品、手数料等の費用を差し引いた額を基金として積み立て、町の事業に充てています。



## 令和2年度ふるさと納税はこんなことに使われました

- 林業大学校宿舍整備
- 救急救命処置業務
- 福祉工房ゆめたまご運営
- 子どもの医療費助成
- 義務教育学校推進(西郷小中一貫校整備)
- 子育て支援(放課後等の子ども預かり)
- 地区別戦略策定専門アドバイザー

一般会計93億

特別会計26億

病院会計6億



**北郷地区FTTH化第2期工事**  
**1億3,892万円**  
北郷地区約350世帯の光化工事を行ったことで、町内全域の光化整備が完了。情報通信基盤の安定運用がなされるようになった。

**老人ホーム(清翠園)にエレベーターを設置**  
**1,575万円**  
老人ホーム2階の居室利用者の利便性向上を図り、安全で自由に行動できるようエレベーターを設置。

**林業大学校受講生宿舎を新築** **1億686万円**  
自宅を離れ林業大学校を受講する研修生の住居の提供を図るため木造2階建ての宿舎を新築。



### 認定 付記事項として・・・

1. 収入未済額が、前年度より500万円圧縮されたことや、住宅使用料およびCATV使用料についても現年度分100%の収納率となるなど職員の日々取り組んできた努力に敬意を表したい。今後も公平公正な徴収をお願いしたい。
2. 公有林の2,700ha（ヘクタール）については、管理体制の充実と販売時の資産の明確化などチェックを十分に行うこと。

#### 【口頭による付記事項】

このコロナ禍の中、多くの職員が町民のために最前線で新型コロナ対応にあたるとともに、日頃と変わらないサービスを心掛け安心安全に徹して頂いた。このことについては、議員一同、職員各位に感謝申し上げ今後も町民に頼られる職員であるようお願いしたい。

## 監査員の目

7月より峰村芳生代表監査委員と山本文男議選監査委員によって約1ヶ月に渡り決算審査が行われ、9月3日議場において峰村氏より議会へ決算審査に関する意見書の報告が行われました。



(監査意見書 一部抜粋)

- 町の税等の収納率は年々向上してきたが、収納の伸びがやや頭打ちになってきている。町税等収納改善対策検討委員会のもと各課徴収担当者が連携を図り、債権管理マニュアルに沿って一歩踏み込んだ徴収事務を進められるよう要望する。
- 予算の流用・予備費充用は一般会計で107件、特別会計で31件なされている。事業進捗と予算の適正管理により、予測しがたい支出需要以外の流用・充用はできるだけなされないよう留意されたい。

今回の定例会では令和2年度決算のほか、補正予算や条例改正、計画の策定についてなど20件の議案を原案どおり可決しました。

専決処分	条 例	補正予算	その他
3件	5件	9件	3件

農産物の生産振興

栗園地の実態調査・台帳整備 271万円

栗の生産振興を図るための効果的な施策や、方向性を検討するうえで重要となる町内の栗園地と生産者の実態調査を行う。また、調査により得た情報を用いて台帳データを作成する。

栗生産者への補助率引き上げ  
57万円増額

優良品種への新植・改植・補植を推進するため補助率を引き上げ生産者の負担を減らし栗生産基盤の強化を図る。

- 質** 補助は栗生産者なら誰でも受けられるのか、また、周知の方法は。
- 答** 栗部会員のみを対象としており、部会員を増やすことも目的としている。町広報紙での周知を予定している。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の活動費 65万円

アロマプロジェクトビジネスを展開する隊員の活動費。(旅費・講座の受講料等)

- 質** 協力隊員の活動の現況は？
- 答** 令和3年5月上旬に着任し、協議会の事務局を勤めてもらっている。商品名やマークの検討、蒸留の試験も行っており、近々宮崎大学で性能分析を行う予定である。

新型コロナウイルス対策に関する事業

町内飲食店への支援

時間短縮営業要請等協力金 2,719万円

宮崎県独自の「緊急事態宣言」が9月30日まで延長となり、県内全市町村の飲食店に対して時間短縮営業要請が出されたため、県と連携を取りながら協力を行う町内飲食店に対し協力金の支給を行う。

町内交通事業者への支援

交通事業者支援事業補助金 28万円

外出自粛の影響により、交通事業者による移動需要が減少している。地域交通網維持のため、現有する車両の維持確保を目的として町内交通事業者に対し支援を行う。

学校給食で県産食材の消費促進

県産肉牛購入費 83万円

消費の落ち込む県産食材を学校給食で提供することにより、地産地消および消費促進を図る。



※議案一覧・議決結果はQRコードで簡単にご覧になれます。



# 6次産業化拠点施設整備事業 一般会計補正予算 4億639万円増額案

否決

7月は3回の臨時会が開催され、6件の議案が審議されました。うち1件については第2回臨時会から継続審査案件となり、7月20日の第4回臨時会にて否決となりました。

## 一 主な内容 一

### 事業費

- 拠点施設整備事業工事請負費 3億7,139万円
- 備品購入費 3,500万円

令和元年に策定された「美郷町地域ぐるみで取り組む6次産業化基本構想」の基本方針である「まずは栗で外貨を稼ぎ、全体の6次産業化へつなげる」ための拠点施設を整備する。

### 財源

- 農村漁村振興交付金 1億8,500万円
- 産業等振興基金等 1億2,139万円
- ふるさと応援基金 1億円

栗は地域で6次産業化が確立しているが、施設の老朽化・人手不足・担い手不足により現在の施設では目的が達成できない。

旧田代小学校の体育館を改修し、新たに加工施設を整備することで課題を解決することができ、新たに商品開発を進めることも出来る。

栗の加工品でのふるさと納税の寄付額増  
栗の買い取り価格向上  
増やした寄付金でその他の作物・産業の支援を行う。

## 賛成 討論

- この中山間地において1次産業あつての6次産業である。栗生産者にも還元、町にも還元できるシステムづくりは大いに賛成。
- 事業費が4億円と財政面から考えると多額ではあるが、財源として国からの交付金、美郷町の産業等振興基金、ふるさと応援基金がある。このまま6次産業化を思案していくより一歩前に踏み出すことが必要である。
- 何もしないではこのまま進展の無い町になってしまう。移住者、若者の定住を求めるならば、今何かを起こさないと行けない。攻めの農業、美郷町農業振興のためにここで一点突破が必要である。

## 反対 討論

- 加工場の詳細な説明が町民にされていない。また、栗の生産体制は先細りである。もっと早くからの支援、施策が必要であった。
- 旧田代小学校の跡地の活用を慎重に地元と審議された形跡が見当たらない。時間を掛けて慎重に活用方法を話し合うことが大切かと思う。
- 建設費の全額を町で負担することは行政施策の平等性から見て不相当と言わざるを得ない。
- 人口5千人に満たない小さな町が病院と2つの診療所、2つの第三セクターを抱えていることを鑑みれば事業費が桁外れに大きい。将来の町財政に緊張感、緊迫感を持って対応していかなければならない。
- 栗を植えて育て収穫するまでの基盤がまだまだ未完成である。加工場の建設よりその予算を栗の木の育成に充てるべき。6次産業も1次産業のしっかりとした裾野すそのを構築してはじめて成功がなし得るものである。

賛否一覽	氏名	山本 文男	中嶋 奈良雄	川村 義幸	川村 嘉彦	黒田 仁志	甲斐 秀徳	森田 久寛	園田 義彦	山田 恭一郎
	賛否		●	●	○	●	○	○	●	○

○賛成 ●反対 ※那須富重議員は議長であるため表決には加わりません。

## そのほか臨時議会にて審議された議案

### 第2回臨時会

議案第59号 動産の取得について …… 原案可決

議案第61号 令和3年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)… 原案可決

### 第3回臨時会

承認第 8号 令和3年度美郷町一般会計補正予算(第2号)の専決処分… 原案承認  
(専決第10号)の承認を求めることについて

# 町政を問う

## 一般質問

令和3年第3回定例会の一般質問は、9月6日、7日の2日間の日程で行われ、7名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次の通りです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見ることができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に3月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



## 町の医療体制について

**園田** 南郷診療所では勤務されていた医師の退職により派遣医師の先生方で診療を頂いているが、やはり定着医師の確保で安定した美郷町の医療を行うことが重要であると思われる。町長は先の議会で出来れば令和3年度中に確保を目指すという答弁であったが、その進捗状況について、また、南郷及び北郷診療所においても現在より医療提供体制の縮小があってはならないと思われるが答弁を求める。

**町長** 美郷町出身の医師が数名おられ、医師情報などを収集しているところである。また、医師人材紹介サービス業者などもあり厚生労働省から援助を受けている医師の方々と連携を取りながら医師確保に向けた取り組みを行っている。診療所の医療が縮減されたら大きな問題ということは承知をしている。前提条件として定着医師及び派遣医師という部分が重なってくるが現在より減らない様に努力をしていく。また、南郷の方で介護リハビリという部分も充実させていきたい。



そのだ よしこ  
園田 義彦 議員

## 町内の遊具施設整備について

**園田** 西郷レイクランドには子育て支援および集客などの目的で遊具施設の整備がなされた。同様に南郷北郷にも設置の必要があると思われるが、答弁を求める。

**町長** 南郷北郷の方々からも設置を要望する声が届いている。どの様な遊具施設がいいのか、また、設置の場所など子育て世代の方々とも協議を重ねながら要望に応じていきたい。

## 新型コロナウイルス感染対策について

**園田** ワクチンの接種希望者への接種終了予定は11月末頃ということであったが予定通りか。また、役場職員関係者、介護関係、学校職員、保育園職員の方々など職種によっては早めの接種が必要と思われる。併せて、9年生(中学3年生)においては受験を控えているが、何か対応策は考えているのか。感染情報についても美郷町内という表現だけでなく絞った形で地域などの公表も必要と思われるが答弁を求める。

**町長** 接種希望者については10月末を目処に終了予定である。また、早めの接種が必要と思われるの方々についてはすでに接種券の送付を行っているところであり、子ども達の接種に関しても強制は出来ないで個別に希望を取っていくということを基本としている。感染情報については、そこまで狭めた公表が必要かということを考え、これまで通りの情報公開としたい。

## 議会を見にこんね!

どなたでも傍聴できます。

傍聴席は新型コロナウイルス対策のため、人数制限を行っております。(当日受付先着順) ご理解頂きますようお願いいたします。

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒、マスクの着用をお願いしております。

次の定例会は、  
**12月7日(火)開会**予定です。

## 美郷産米について

**甲斐** 宮崎県産ヒノヒカリは食味ランキングにおいて「特A」を2年連続獲得した。町長はこのことについてどの様な評価をしているのか。

**町長** しっかりと生産者が管理していて、また「特A」を取って頂き3年連続という事になれば価値もますます上がると思っている。生産者がしっかりと管理している米なので町としても応援していきたい。

**甲斐** 美郷米として今後のPRをどうするのか。

**町長** 何とかして特選米という部分を「美郷米」としてネーミング出来ないか。美郷産米として出ていかないとインパクトがない気がするので議員さんたちと突破できるように頑張りたい。今後もJA日向と一体となり美郷産米の売り込みを図りたいと思っている。昨年同様の価格でJAには買っていただきたい。町としては補助を行い8,000円にしていこう。



かい ひでのり  
甲斐 秀徳 議員

## 観光への取り組み

**甲斐** 町内オートキャンプ場の状況は。

**町長** 町内に3か所あり全て前年比では相当な伸びである。今年度キャンプ関係の事業提案をコンサルタントに委託している。結果を見ながら整備し、力を注いでいき今後の町の活性化につなげたい。

**甲斐** 景勝地、おせりの滝遊歩道の木々が生い茂り少々見づらいとの指摘がある。また、西郷レイクランドの湖面が見えづらくなっているが。

**町長** 多くの観光客に来ていただいている。木々が大木化し、切るのが難しくなっているのが現状である。また、県指定の緑地環境保全地になっており勝手に切る訳にもいかない。現地を踏まえてどれを切ったほうが良いか確認し、県に申請後の作業となる。レイクランドの湖面についても見づらいとのことなので、レイクランドに限らず、町内施設を計画的に整備していく。



やまもと ふみ  
山本 文男 議員

## しいたけ原木供給事業の再開について

**山本** しいたけは価格の低迷が続き、産業として成立できるかの瀬戸際にある。原木供給事業の廃止により後継者のいない中高年や女性、原木を持たない生産者の多くはしいたけ生産をやめざるを得なくなるが、このことに対し町長の考えを伺う。

**町長** しいたけに関して理解していなかった部分もある。

産業等振興基金も利用できる。原木供給事業の再開に向けて検討していきたい。



原木栽培の様子(ほだ場)

## 移住者の住居について

**山本** 町内には北郷黒木地区と西郷レイクランドに計5戸のお試し滞在施設があるが、稼働率が低い。「黒木の郷」3戸を移住定住住宅として活用してはと思うが考えを伺う。

**町長** 国の交付金事業で出来た施設のため、協議の上、適当な時期が来れば住宅として利用したい。



お試し滞在施設「黒木の郷」(外観)



お試し滞在施設「黒木の郷」(室内)

## 栗餡<sup>あん</sup>工場の再生について

**川村** 20年前に作られた栗餡<sup>あん</sup>工場は古くなっており、現在のHACCP（ハサップ）認証に認定されない可能性がある。工場の整備と栗に携わる職員を育成し、栗生産農家の生活が成り立って行けるよう引っ張って行ってほしい。栗を使ったお菓子等もふるさと納税返礼品として大変期待できるものである。

**町長** 美郷町の産業の為にも栗餡<sup>あん</sup>製造工場を無くすようなことは避けたい。また、他の色々な作物でも同じことなので、次世代に向けた担い手を育てていきたい。第4回臨時議会で否決された栗餡<sup>あん</sup>製造工場整備については事業継承体制を整えば再度議会に問いたい。



かわむら よしゆき  
川村 義幸 議員



くろだ まさし  
黒田 仁志 議員

## COVID-19の状況と今後の対策、ワクチン接種について

**黒田** 現在の町内の感染状況は。

**町長** 8月に2名発生した。職場感染者とその家族。従来型での感染。

**黒田** ワクチン接種の状況は。

**町長** 65歳以上は7月末でほぼ終了し、8月末時点で83.6%。65歳未満は20.2%、町全体で54.2%が2回目を接種しており10月末に終了予定。

**黒田** 児童生徒への感染も取りざたされているが、もしもの時のリモート等の対応は。

**教育長** 県の方針に沿って一人でも感染者が出たらいったん臨時休校する。その後は保健所と協議しながら対応する。リモートについては、セキュリティ対応など環境整備を行っており、10月末までには可能であろうと考える。冬休みにいったん全員持ち帰らせ、試行していきたい。

**黒田** 今後の町内の行事等方針を伺う。

**町長** 復興イベントは来年の3月6日に延期。秋祭りは情勢を踏まえた上でそれぞれの地区の判断にお任せしたい。

**教育長** 運動会は昨年度と同様の開催、修学旅行は県内を予定している。

## 10年後の美郷町について美郷町の未来について考察したい(2031年)

**黒田** 予想として人口はどれくらいと考えられるか。また、高齢化率、児童生徒の数の予想は。

**町長** あくまで推計であるが、3,766人。うち高齢者が2,182人で高齢化率56.1%である。児童生徒数は192人の予想。

**黒田** 主要産業をどのようにとらえているか。

**町長** 大きな変化はないだろう。IT化は進むだろう。

**黒田** 第2期の美郷町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況は。

**町長** 地区別戦略の策定については、6地区が昨年度から、9地区が本年度より取り組んでいる。来年度は残り9地区で検討に入る。行政ではない視点でよく研究している。それぞれの特色を生かした楽しい計画である。子育て支援センターは10月より試験的に開所する。

**黒田** 移住のために必要な住宅問題をどうとらえているか。

**町長** 空き家・空き店舗不足は問題である。地域の力を借りながら進めていきたい。

**黒田** 美郷町が生き残っていくために最も重要なことは何だと思うか。

**町長** 「ひと」が一番重要、課の連携を図りながら住みやすい町を目指していく。

**黒田** 夢破れて山河あり、人いなくなり基金ありについてどう思うか。

**町長** ある程度の財政出動も必要。必要であれば、町民の理解を求めながら使っていきたい

**黒田** 町民へのメッセージをお願いしたい。

**町長** 人口減少は静かなる有事、まだ10年あるととらえるかもう10年しかないかととらえるかそれぞれの地域の目標をしっかりと立て、楽しい美郷町を作っていきましょう。一人の100歩より100人の一歩が大切であります。

## 事業承継について

**山田** 町民の農・林・商業の生活基盤を第三者に事業承継することも、定住促進の政策に含める必要があると思うが、町長の考えを伺う。

**町長** 事業承継は重要な課題である。今後、基礎データ集計のためにアンケート調査を行い意向を確認したい。また、事業承継の周知を図るために、広報等での紹介や事業承継のセミナーを開催し、情報発信を行う。後継者人材バンクや県の事業承継センターなどを活用して定住者の掘り起こしを行う。

**山田** 事業承継と、高齢者が地域の中心部や国道沿いに居住する政策とを連携することで、安心して住みやすい町になると思うが長期政策としての町長の考えを伺う。

**町長** 総合的住宅政策として、安心安全のために住居を集めることは必要なことだと思う。今ある事業を失うことは損失であり、事業承継と産業の振興を考慮した住宅政策を考えていく必要がある。町民の意見を聞きながら住宅政策を進めたい。



やまだ きょういちろう  
山田 恭一郎 議員



かわむら よしひこ  
川村 嘉彦 議員

## 生活道路の除草、管理について

**川村** 生活道路に草が生い茂ったり、穴が空いている所がある。事故の心配があるので管理、除草できないか伺う。

**町長** 生活道路の安全を確保することは大切な事と思っている。町が管理していかなければならない危険を感じる道路であれば、随時修繕して、しっかりとした安全対策を行いたい。

**川村** 高齢者が多く戸数も少ない路線があり、距離も長いので地域の人は除草管理が大変である。生活していく拠点道路のため早急な対応を願いたい、考えを伺う。

**町長** 生活道路が危険と言うことであれば除草、修繕していきたい。地区の要望等に応じながら生活道路は優先してやっていきたい。

## 国道などの白線の対応について

**川村** 道路の白線が消えかかったり、消えている箇所がある。地域の人達が散歩時など危険を感じる時があると聞くと、県などに要望できないか伺う。

**町長** 国道、県道、町道など白線が消えている所があると町民の方からも聞いている。町、建設課は毎年要望しているが、今後も議会と一緒に要望していきたい。

**川村** 小川公民館から榎ノ鶴の橋までと、北郷トンネルから和田の体育館までの両国道には歩道が無く、地域の人たちの散歩道と聞いているが、スピードを出して走る車が多いこともあり危険を感じる。交通安全上からも早急に対応していただくようお願いしたい。

**町長** 交通安全を考える上でも土木事務所に要望していきたい。土木事務所には町も優先順位を付けてお願いしていきたい。



生活道路に空いた穴

### ポイント!

※P8川村義幸議員の一般質問

**HACCP(ハサップ)とは?** 原材料の受け入れから加工・出荷までの各工程で、「微生物による汚染や異物の混入などの危害を予測し、「危害の防止につながる特に重要な工程を連続的・継続的に実施し記録する」といった、製品の安全性を確保する衛生管理手法。

# 議会トピックス

## 文教産業常任委員会所管事務調査 ～西郷義務教育学校の現況について～



1. 調査日 令和3年7月15日
2. 調査場所 西郷義務教育学校（現地）  
教育課より、義務教育学校としての開校に必要なとなった校舎整備について、学校長より義務教育学校ならではの連続性のある学びの実現や教育目標、新たな取り組み、特色のある教育活動等の具体的な説明を受けました。

町の宝である子どもたちが、新しい学び舎での9年間の教育を通して、町に誇りと愛情をもち、夢や希望をもって心身共に健康で忍耐強く育つ姿が楽しみです。

## 会議規則が改正されました

議会における議員活動と家庭生活との両立支援をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護等での議会への欠席事由を整備しました。

また、出産については、産前産後の欠席期間（出産予定日の6週間（多肢妊娠の場合にあつては、14週間）前の日から産後8週間を経過する日まで）を明記するよう改正しました。

## 県へ医師確保対策を要望

7月21日、町長と議長、副議長、総務厚生常任委員長とで宮崎県福祉保健部長への要望活動を行いました。

住民にとっての安心安全のよりどころである医療提供体制を確立するため、町内診療施設への医師確保対策をお願いしました。

## 議員のひと言コーナー

### 巣穴の中から

くろだ まさし  
黒田 仁志 議員



宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」

報道に違和感を覚えます。コロナ対策でも自然災害にしろ、拳句は飲酒運転による事故まですべてを行政の責任のように報じています。コロナ対応に対する声も自分を正当化するものばかり、国民は権利というものはき違えてきているような気がします。個人の権利は個人の責任の上にあります。それともどこかの国のように、がんじがらめの生活を送りますか。今は我慢の時、みんなで責任を持って立ち向かっていきましょう。それができるのが日本人でしょう。

### 稲穂と彼岸花

かい ひでのり  
甲斐 秀徳 議員



梅雨を開けてからも今年は雨の降る日が多かった。2、3日晴れても直ぐに降りだす。その結果雑草の成長がとても速く土手の草刈りが日課のように感じる。また、コロナ禍で全てのイベント中止、県外へ出ることもできず、政務活動・省庁への陳情もできなかった。稲は日照不足な為に徒長、稲穂垂れるこの頃になったが雨のため、倒伏しないかと心配。その脇で赤い彼岸花が咲きだし、毎年季節を忘れずに一斉に咲き乱れ人々の心を和ませます。彼岸花でゆったりとした田舎の良さがコロナ禍を忘れさせます。

### 回想

もりた ひさひろ  
森田 久寛 議員



若い頃海外に行って見たくて、米国のアイオワ州で、1年以上生活した経験があります。中西部は、日本のように春夏秋冬がなく、春と夏の気配をほとんど感じることはありません。夏は40℃以上の猛暑、冬は-20℃以下の寒さ、素手で鉄パイプを握ると危険な状況でした。そんなアイオワ州でしたが、温かみのあるところで私は気に入っていました。日本に帰る前に「必ず、帰ってこいよ」と声をかけられ、「又、遊びに来ます」と答えながら、再会していません。でも夢はいつまでも持ち続けます。

# あれからどうなった？ ～追跡調査～



## 峰地区の危険箇所の多い農道の拡張整備について

(令和2年12月議会での一般質問)

かわむら よしゆき  
川村 義幸 議員

問 現在使用している峰地区の農道は、道幅も狭く、コンクリート舗装の強度も弱いため現代の農機には通行困難や転落などの危険な箇所もあり、拡張・整備が必要と考えるが。



道幅が狭く路面に亀裂が入った農道

答 峰地区の農道は昭和27年度に整備されたが、今の大型農機では全線道幅が狭く舗装に亀裂が多いことを確認した。国や県の事業導入を検討し、地主の同意等関係各所の協議をもって、大型農機でも安全な作業ができる様に進めていきたい。



5力年計画で農地耕作条件改善事業（農作業道路整備事業）を利用して取り組む予定。

### 現在の進捗状況

要望内容について第1回現場説明会が令和3年6月15日行われた。

#### 要望箇所

- ・年の神神社付近 130m
- ・清翠園付近 152m
- ・排水処理施設付近 240m
- 計 522m

(令和3年9月13日現在)

## 子育て環境の充実について

(平成30年3月議会での一般質問)

なす とみしげ  
那須 富重 議員

- 問 人口減少対策として、住まいと仕事を用意し、それに子育て支援をセットにした政策を実施している自治体がある。大変良いお手本となる政策だがどう考えるか。
- 答 そういう政策があるとは認識不足であったが、イメージとしては総合的に美郷町がそういう環境を含めた中で制度設計をする必要があると感じている。



### 【放課後児童健全育成事業の実施】

平成28年度より北郷地区にて実施していた「放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）」について、令和2年度から西郷・南郷地区でも実施し、町内の小学生が放課後等過ごす環境を統一した。

(これまでは…)

北郷地区が「放課後健全育成事業（町民生活課）」、西郷・南郷地区が平日は「放課後子供教室（教育課）」、長期休業期間は「学童保育（町民生活課）」と町内で統一がされていなかった。



### 【美郷町子ども医療費助成事業の実施】

0歳から中学3年生までを対象として、令和3年10月1日診療分から、薬代を含む医療費の全額を助成することになり、無償化となった。

(これまでは…)

未就学児は1医療機関ごとにひと月あたり350円、小学生から中学生は1,000円を控除した医療費を町が助成していた。

(令和3年10月1日現在)

# 美郷町の元気びと

## 第10回 野球で全国へ挑戦 南郷クラブ



野球チーム南郷クラブ 監督前田光孝さん（前列中央）、主将前田大地さん（前列右から2番目）にお話を伺いました。

### 主な戦績を教えてください。

今回全国大会初出場を決めました。しかし、感染症拡大防止の観点から出場を断念しました。過去には西日本大会に三度出場しています。

### 選手は何人くらいいますか？

登録選手は25人います。全員が南郷に何らかのゆかりがあり、気心の知れたチームです。毎週火曜日の19時から南郷総合グラウンドにて練習しています。昔は公務員とか農協職員が多かったんですが、今は農業、林業、自営業など職種も多岐に及んでいます。

### 毎週練習しているんですね。

練習せんとレベルは保てんわ。

### 監督の思いを聞かせてください。

野球という楽しみがあり、仲間がいれば安心して美郷町に帰ってきてどんな仕事でもしていける。結婚をし、子どもを作ろうとすることで次の世代の少年野球や中学校の野球部などを維持することができる。大きな町の大きなチームはその中のうまいやつから選抜できるが、うちは少人数、練習で上達して試合に出場してくる人間もいる。

みんなが活躍できるところが強み。今回頑張れば全国大会に出場

できることを実践できた。これからもそんな目標を持って選手には頑張ってもらいたい。

### 将来について

しばらく中学校の野球部が休部になっていた時期があった。高校野球をやっていた人間もない。帰ってきてくれるかなあ……。でも、野球に興味があれば帰ってきて一緒に練習をしてほしい。練習で上達すれば試合に出場できる。仕事は何でもいっちゃが、がんばろや。

### 町への要望は

全国大会などへ行く際の派遣費助成をもう少し増やして欲しい。めったにあることではないのだから、美郷町からでも全国へ行けるという夢と希望を与えるための後ろ盾として要望したい。



次の大会も勝てるよう練習中です。

稲刈り後の夕刻にひたむきに取組む姿に感動しました。駅伝にして、小さい町にいながら頑張っている若者はたくさんいます。彼らを支えていくことが町の明るい未来につながると思います。

（取材 黒田 仁志）

## 編集後記

暑さ寒さも彼岸までといったものの天候不順、2年間のコロナ禍、どちらもうんざりですね。それでも季節は廻っています。夏がなかったように感じますがいつの間にか稲穂も色づき、ナシ、栗ひろいが始まり秋本番。議会も第3回の定例会が終わわり、あとは12月の定例会のみ。我々議員任期も残すところ4ヶ月となりました。町民全員コロナ予防接種後アフターコロナで町民の明るい声が聞けるのを待ち、笑って話せる日が来るように願っています。しかし、今後も油断禁物です。マスクの着用、消毒を心掛け、うつらない、うつさないでコロナ終息を願いたいものです。

（編集）

美郷町議会  
広報広聴特別委員会  
広報部会

部長……黒田 仁志  
委員……中嶋奈良雄  
甲斐 秀徳  
山田恭一郎  
オブザーバー  
那須 富重

### 美郷町の元気びと募集！

美郷町議会だよりでは、美郷町で活動している元気な人「元気びと」を募集しています。ぜひ、ご一報いただければ取材に伺います。自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております！！

議会事務局  
TEL(0982)66-3607

※この議会だよりは1部 34.1円でできています。